

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハピー越谷教室	公表日	2025年 10月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	お子さまが楽しく通所できるようにイベントの立案・実施、支援を展開している。	隣同士の宋目の上側の壁が無いことで、リトミックなどが実施しづらい。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		職員の休みなどが出た際には集団化するなど対応していることで、安全に支援が行えている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	お子さまが理解しやすいような環境を設定している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	毎日の清掃を欠かさずに行い、玩具の消毒も週1で実施している。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	クールダウンとして個別の部屋を使うことはできるが、もう少し部屋が広いと良い。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		人事考課に伴い、上半期・下半期に分けて目標を確認する機会と振り返る機会を作っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		可能な範囲で改善につなげている。保護者同士の交流の場や外部向けイベントなどは今後行っていく予定。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		風通しの良い職場である。意見を募る場合はチームスの教室チャットにて全員の意見を聞く機会を作っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	内部監査等で指摘された事項は改善に努めている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		会社内の研修が豊富。外部の研修にも参加しやすい環境が整っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		児発管がメインとして管理しながら期限が過ぎることがないよう、保護者様のニーズに合わせて計画書の作成・提示をしている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1	アセスメント時期には面談を実施。その結果を踏まえ、計画書を作成している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		検討会の中で意見を出す場があるため、様々な職員の視点で目標を決めている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		検討会で共有する他、個別ファイルに格納しているため、支援に入る前には都度確認をしている。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		ご家族や各機関との連携をおこない、お子さまに最適な環境の提供や情報の共有ができるように努めている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		一人一人に合った視点で3つの支援を考えている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		今年度から実施している、長時間預かり(区分2)や運動集団では、年間スケジュールを立てるために意見交換をした上で、プログラムを立案している。	

	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		活動記録を確認することで、固定化しないよう工夫している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		状況やニーズに合わせて、個別・ペア・集団で調整している。	
適切な支援の提供	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	集団支援ではサブと主の職員の動きや内容の確認を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		共有事項や気づいた点等を終礼時に共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		記録を書くことはもちろん、他職員が入力した記録を元に支援の検証や改善を行っている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		モニタリングの際には複数の職員で今後の方針について検討をおこなっている。	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	開催の機会は少ないが、担当職員や児発管が参加している。	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	主に児童発達支援・幼稚園・保育園との連携をおこなっている。	
関係機関や保護者との連携	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		希望者には園や学校と共有を行っている。	
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		ご希望に合わせて小学校や特別支援学校との情報共有をおこなっている。	
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	地域の児童発達支援センターと連携を図ることが少ないため、今後実施していきたい。	
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会は極端に少ないため、今後実施していきたい。	
	33 曜頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		FBの時間には家庭や園での様子の共有、発達の状況や課題を確認している。	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	面談等の頻度を以前よりも増やしている。	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に説明をおこなっている。	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		日々の支援での様子を踏まえたうえで、アセスメントによりお子さまや保護者様の意見に重点を置いて作成している。	
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		できるだけ専門用語の使用は避け、分かりやすい文言での説明を心がけている。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		ご希望がある場合にすぐに保護者様が依頼できるよう に、希望票の設置をおこなっている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	保護者会は開催しているが頻度が少ないため、頻度を上げていきたい。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		相談や申し入れの窓口担当や解決責任者を設置している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	毎月通信を発行している。2か月に一回HPに活動の内容を掲載している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報に関するものは鍵のあるキャビネットで保管している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		口頭での伝達に加え、手紙の作成をおこなっている。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	特に未就園のお子さまを対象に、親子で過ごすあそび場を提供している。	ハピーに通っていないお子さまを対象としたイベントを行うこともあるが、周知力が弱く、あまり人が集まらないため改善方法を考えていきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		ヒヤリハットなどの共有から、事故につながりそうな事案についての対策をおこなっている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年間の訓練の計画を立てている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		アレルギー情報などの確認もおこなっている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		調理活動を行う際には、必ずアレルギーを確認する機会を設けている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的に設備点検をおこなっている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		利用者様が閲覧できるファイルに格納し、いつでも確認できるようにしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		会社で研修の機会が確保されている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		会社で研修の機会が確保されている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		契約時に身体拘束についての説明をおこなっている。	